

平成23年度 有明ハイツ事業計画

1 運営方針

有明ハイツは、自宅での生活に不安のある高齢者が利用する軽費老人ホームA型・B型施設として昭和50年5月に開設し、36年目を迎えます。この間、利用者のニーズを見極め、福祉サービスの充実と向上に努めてきました。

今年度もA型80名（食事付）、B型20名（自炊）の定員で運営を行い、心身ともに健やかで生きがいのある生活が送れるよう利用者一人ひとりのニーズに合わせ、その人らしい生活支援の充実に取り組んでいきます。

また、当協会の各施設利用者や地域の人々との交流を図り、地域の一員として開かれた施設となるよう努めます。

施設整備においては、安全・安心な生活が送れるように建物・設備関係の定期的な維持、保全管理に努め、必要な箇所については緊急性を勘案して計画的に改善や改修をしていきます。

なお、有明ハイツB型については、自炊の施設として設置されましたが、健康上の理由などから食事付での生活希望者が多く、平成24年3月末に廃止し、A型への移行に向け、新潟市と協議検討しており、身元保証人とも緊密な連絡を取り合いながら個々の状況に応じた適切な支援に努めます。

2 事業計画

(1) 利用者サービス

- ① 健康で明るい生活が送れるよう、リズムのある一日の過ごし方として、各種行事やクラブ活動等に興味のある内容を取り入れ、参加していただけるよう工夫していきます。
- ② 心身機能に低下が見られる利用者については、個別に健康・医療相談や福祉制度・介護保険サービス利用のための情報提供や助言に力を入れ、活力ある自主的な生活が営めるよう努めます。
- ③ 介護予防として施設独自の健康にこにこ体操やテレビ体操への参加を呼びかけ、健康の維持と増進を図り、転倒事故等の発生防止に繋がります。
- ④ 食事面では、年2回嗜好調査を実施し、利用者のニーズに応じた美味しく栄養のバランスのとれた食事の提供に努めるとともに、食品や調理業務の衛生管理にも万全を期していきます。
- ⑤ 生活支援をより一層きめ細かく行うために、利用者ニーズに応じたサービスが提供できるようケース記録管理ソフトを導入します。

(2) 健康管理・衛生・安全対策

- ① 日常生活の健康管理を行い、疾病等に対し早期に対応していきます。

- ② 感染症に対しては、感染症マニュアルをもとに職員間の連携を図り、早期発見に努め、迅速な対応を行います。また、発生予防対策として手洗いの徹底や施設内の換気、うがいの励行を呼び掛けます。
- ③ 安全対策としては、事故やヒヤリハット収集の報告書を活用、それらを分析し、事故発生の改善策を検討、事故防止に努めます。
- ④ 防災対策については、利用者の防災意識を高めるため、地震・火災を想定した訓練を実施するとともに、利用者の身体状況及び職員体制などの条件の中で、一層の工夫に努め、十分な対策を講じます。また、協会の各施設の防災訓練に積極的に参加し、連携強化を図ります。

(3) 地域交流

協会の各施設の利用者との交流はもとより、近隣の小学校児童との交流会や地域住民からも気軽に利用してもらえるホーム喫茶、ふれあい夏まつり、協会文化祭等の交流を積極的に行います。

(4) 職員の資質・能力向上

職員研修については、利用者の多様な福祉ニーズに対応できる人材を育成するため、施設内研修の充実と施設外研修にも積極的に参加し、専門職としての資質と能力の向上を図ります。